

あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

〇〇58



私たち親の世代は、中3になると、ほとんどの中学校で同じ校内模試を実施していました。高校受験には、冬の3者面談がつきもので、担任の先生の「大丈夫！や！ランク下げて！」の助言が、受験生一人一人の進路選択を大きく左右しました。

脱偏差値

1993年2月、文科省から全国の県教委に「脱偏差値・個性重視」を指摘すべきだとする通知が出されました。学校現場からは「偏差値」が追放され、いつしか中3冬の3者面談は「受けたい高校」を届け出る場になっていきました。文科省の通知が出されたころ、その内容や報道から、偏差値追放後の入試の多様化について、様々な方策が考えられ

個性重視 頑張りを評価

学歴よりも実力問われる

年の中3生とご家庭は、偏差値60以上は全体の約15%が、同じく一度の進路選択であらう受験なのです。そこで志学塾は、県



by yoriko

南の有力な塾に手紙を出し、統一して模試を実施しようと呼び掛けました。多くの塾の賛同を頂き、その年の10月に地域の家庭教育に拡大、面接の重視、受験機会の複数化など生徒の個性や創造力を重視した教育を目指した試みが全国で行われました。中でも青森県は入試の改革を先進的に実施し、今日に至りま

アジア市場の背景に海外雇る日本企業は多国人留学生を対した就職説明会がある。留学生は言語や文化にポイントをアピールし、首都圏でケースが多く、学留生にはもなっている。日本学生支援よると、外国人は14万1774010年5月で、前年同期比増で過去最多ケートで約6割生が日本の研望している。3月上旬、青島区のサンシャティで開かれた人留生のためreeerfm。首都圏を留学生約千人がび、出展35社を回った。「留絞った説明会がして臨める」と出身で青山学院院の男子学生(春入社に向けだ。日本人学生り説明会に出たあるが、「就職で留学生にま向けられていた言う。

教育

親も知らない。プロ

子どもとケータイ



②

黒々としたアイコンと「盛る」とは数年前から上向きにカールされた長い女子中高生の間ではやってまつげ。プロフのトップ画

載

